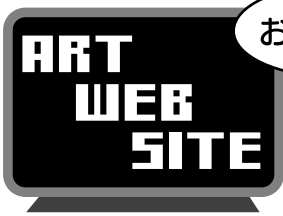


ART NEWS



お気に入り

インターネットは文字だけでなく、映像や音声も扱えるマルチメディアの世界。音楽や演劇など動きのあるエンターテインメント情報を伝えるには格好のメディアである。しかも、リンクを設定することで、さまざまな関連情報を結びつけて膨大な“情報の森”を形作ることができる。こんなところも広いすそ野を持つ音楽や演劇の情報を扱うのにぴったりだ。そこで今回は音楽と演劇のポータル(玄関口)サイトを一つずつ紹介しよう。



福岡音楽ポータルサイト「FUKUOKA MUSIC.JP」 <http://www.fukuokamusic.jp/>

「エンターテインメント都市」を目指す福岡市が今年2月末に開設した福岡・九州の音楽情報を発信するサイト。自治体が運営する音楽サイトでは全国初。

コンテンツは非常に充実している。まず「Fukuoka Music TV」では地元アーティストを動画で紹介。それぞれ3分前後の長さで、画像も鮮明なので相当楽しめる内容。「イベントスケジュール」では福岡市内の大小の音楽イベントを網羅。ジャンルや日付、キーワードで検索できる。試しに全ジャンルで検索すると9月中旬から後半にかけて200近くがヒット。福岡の音楽シーンの分厚さが実感できる。「福岡音楽コラム」は、放送関係者やイベントスタッフ、レコード・CD店長、アーティストなどの福岡音楽コラム。読者が自由に意見や音楽評などを投稿できる「コミュニティ」の掲示板やメーリングリストもあり、コラムニストとの意見交換もできる。

このほか、福岡の音楽シーンを動画付きの新聞形式で配信する「ブロードバンド動画新聞」、バンドメンバーや演奏者、楽曲を募集したり、自分を売り込んだりできる「音楽市場」、ミュージシャンやバンドなどのアーティストやライブハウス、CD店など音楽関連企業が検索できる「福岡音楽データベース」など、とにかく内容盛りだくさん。ADSLなどブロードバンドでアクセスすることをおすすめしたい。



演劇ポータルサイト「THEATER PLANETS」 <http://www.indiporo.com/TP/>

「演劇を創る人と観る人を結ぶ日本最大級の演劇情報ネットワーク」がうたい文句。演劇の盛んな早稲田大学OBが1999年にスタートさせた巨大な演劇ポータルサイトで、情報の幅広さと迅速さは折り紙つきで、7月の嘉徳劇場の浸水被害もいち早く告知している。

コンテンツは「チャンネル」「メールマガジン」「掲示板」「その他」に分かれていて、「チャンネル」はさらに演劇専門検索エンジンの「えんげきなび」、厳選された約700の演劇サイトが結びついた「E-RING」、東海から九州、沖縄までの西日本を網羅した演劇情報ネットワーク「演劇生活WEST」、演劇関連記事を集めた「演劇ニュースヘッドライン」、早稲田大学の演劇関連サイトを集めた「早稲田演劇共和国」、携帯電話で公演や劇団員募集の情報が得られる「モバイルインフォメーション」で構成されているといった具合で、うっかりしていると迷子になりそうなほど。

「メールマガジン」は公演・劇団員募集・チケットプレゼント情報を届けてくれる「@Pigeon(アットマーク・ビジョン)」をはじめ5つ。「掲示板」も東日本と西日本に分かれた公演情報、劇団員募集情報、チケットプレゼント情報、フリートーク掲示板ときわめて多彩だ。とにかく目の前のパソコン画面に日本全国の演劇情報がパノラマのように展開する、演劇ファンには必見のサイト。